

## 2012年の国際収支から

2月8日に2012年の国際収支状況(速報)が発表されたので、経常収支の概略を紹介する。

### 1. 2012年の経常収支の概要

#### 経常黒字2年連続の減少

海外とのモノ、サービス、投資などの取引状況を総合的に示す経常収支は、4兆7,036億円の黒字(前年比4兆8,472億円減の黒字幅縮小、同50.8%減)で、2年連続で減少した。1985年以降の現行方式で過去最少の経常黒字を記録した。

主要因としては、「所得収支」の黒字幅が拡大したものの、「貿易・サービス収支」の赤字幅が拡大したことが挙げられる。

#### 経常収支の動き

(億円)

	2011年	2012年(P)	前年差
経常収支	95,507	47,036	-48,472
貿易・サービス収支	-33,781	-84,139	-50,358
貿易収支	-16,165	-58,051	-41,887
輸出	627,248	614,268	-12,979
輸入	643,412	672,320	28,907
サービス収支	-17,616	-26,087	-8,471
所得収支	140,384	142,613	2,230
経常移転収支	-11,096	-11,439	-343

### 2. 主要項目別の動向

#### (1) 貿易・サービス収支:2年連続の赤字

貿易・サービス収支は、8兆4,139億円の赤字(前年比5兆358億円減の赤字幅拡大)となった。

内訳の「貿易収支」と「サービス収支」の赤字幅が拡大した。

##### ①貿易収支:赤字幅拡大

輸出から輸入を差し引いた貿易収支は、5兆8,051億円の赤字(前年比4兆1,887億円減の赤字幅拡大)で、1985年以降で過去最大の赤字額を記録した。

輸出は、中国やEU向けが不振で、61兆4,268億円(前年比1兆2,979億円減、同2.1%減)で2年連続の減少となった。

輸入は、鉱物性燃料の価格高止まり等により67

兆2,320億円(前年比2兆8,907億円増、同4.5%増)で、3年連続の増加となった。

##### ②サービス収支:2年連続で赤字が増加

サービス収支は、2兆6,087億円(前年比8,471億円減の赤字幅拡大)となり、2年連続して赤字が増加した。

サービス収支の内訳を見ると、「輸送収支」は、海外の輸送会社への支払いが増え、1兆2,597億円の赤字(前年比3,716億円減の赤字幅拡大)、「旅行収支」は訪日外国人旅行者数が837万人(前年比34.6%増)と回復し、1兆578億円の赤字(前年比2,385億円増の赤字幅縮小)となった。また、「その他サービス」は2,912億円の赤字に転じた。

#### (2) 所得収支:2年連続で黒字が増加

所得収支の黒字は、14兆2,613億円(前年比2,230億円増の黒字幅拡大、同1.6%増)となり、黒字が2年連続で増加した。

所得収支の内訳である投資収益の「直接投資収益」は再投資収益の受取増加等により4兆2,033億円の黒字(前年比3,815億円増の黒字幅拡大)、一方、「証券投資収益」は債権利子等の受取減少等により9兆3,964億円の黒字(前年比1,422億円減の黒字幅縮小)となった。

### 3. 今後の動向について

当会貿易動向調査委員会が、昨年12月6日に発表した見通しによると、2012年度の経常収支は、所得収支の黒字が対外資産の増加により拡大するものの、貿易・サービス収支の赤字拡大により2年連続で黒字幅が縮小すると見込んでいる。2013年度は、貿易収支、サービス収支、所得収支がそれぞれ改善するが若干にとどまり、経常収支の黒字拡大も小幅なものとなり、その水準は震災前の2010年度の3分の1程度にとどまると見通している。暦年との違いがあるものの、今後の動向に留意したい。(調査グループ 関谷裕介)